

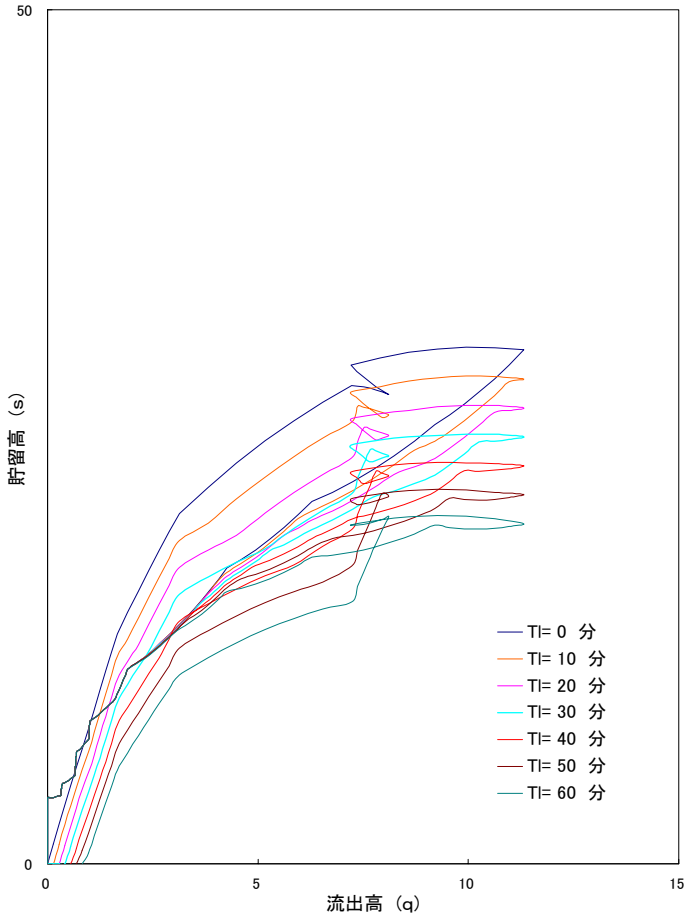
K,P,TIの設定 (ケース2)

平成23年4月

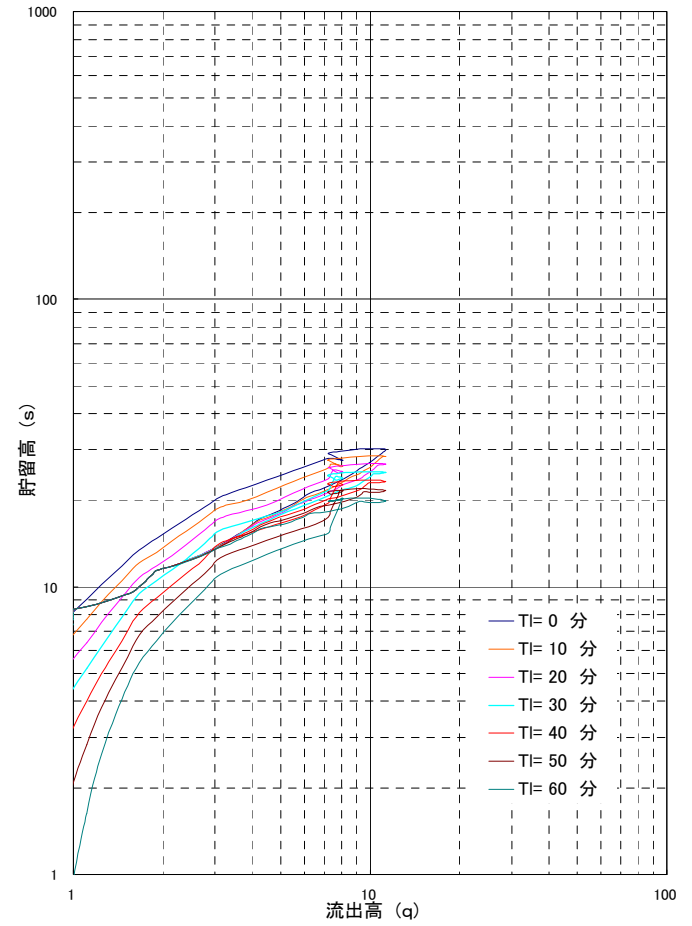
現在、新たな流出計算モデルの構築と並行して、雨量及び流量データの点検を進めてきており、本資料はこれまで（平成23年4月26日時点）の雨量及び流量データの点検結果を用いて作成している。

地点	洪水名	遅滞時間	係数	
		TI(分)	k	p
矢木沢ダム	平成10年9月洪水	30	7.587	0.528
奈良俣ダム	平成10年9月洪水	50	6.268	0.655
相俣ダム	平成14年7月洪水	40	10.591	0.655
菌原ダム	昭和57年7月洪水	60	13.487	0.530
	平成10年9月洪水	120		
岩島	平成13年9月洪水	80	29.321	0.305
	平成19年9月洪水	120		
四万川ダム	平成11年8月洪水	0	41.157	0.296
上里見	平成10年9月洪水	30	29.519	0.428
霧積ダム	平成3年8月洪水	0		
	平成19年9月洪水	50	16.686	0.601
安中	平成10年9月洪水	60	10.765	0.680
道平川ダム	平成10年9月洪水	60		
	平成11年8月洪水	20	17.525	0.580
万場	平成11年8月洪水	100	29.976	0.476
	平成19年9月洪水	60		

流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

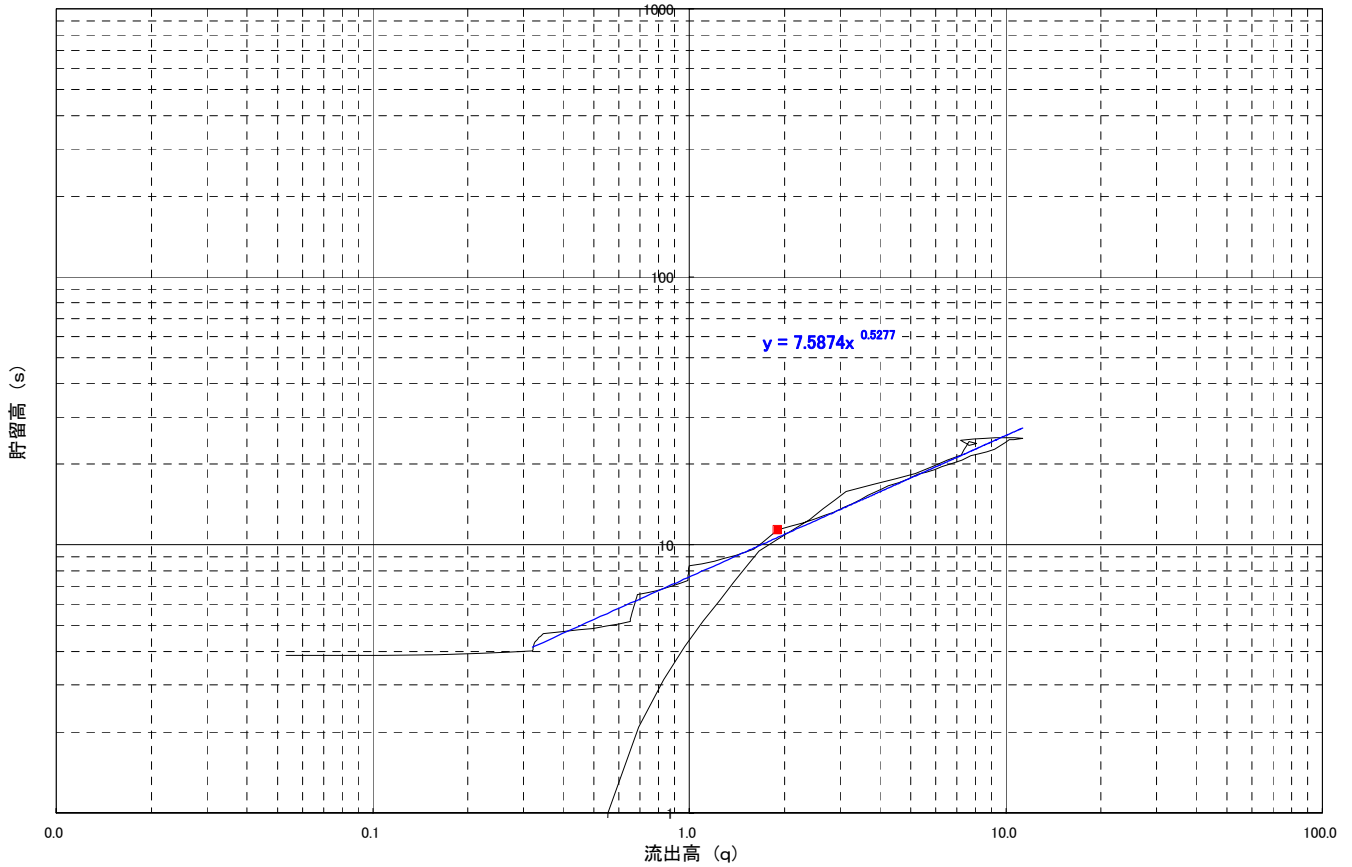


TL= 30 分

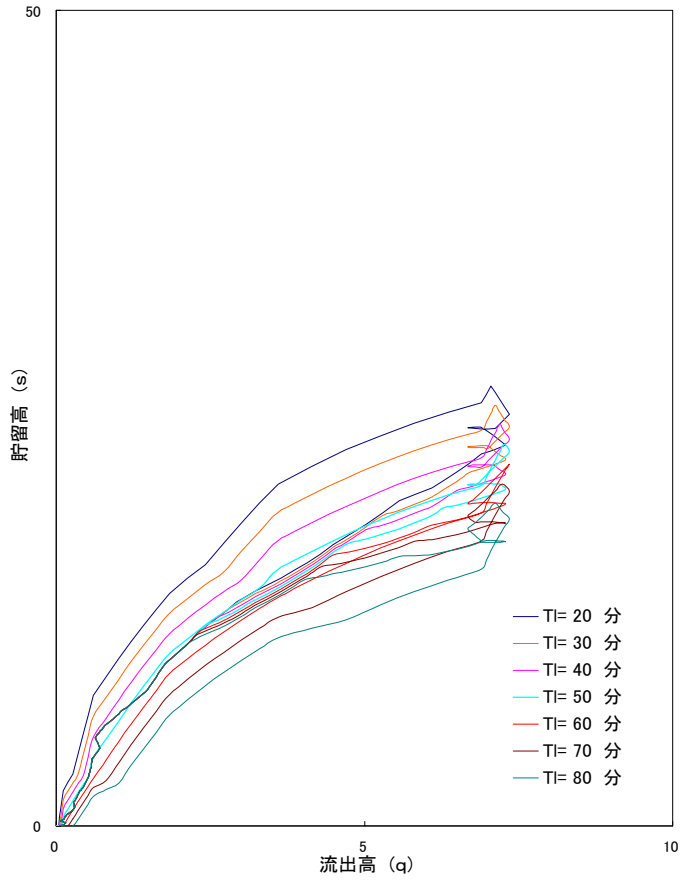
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 70.78$

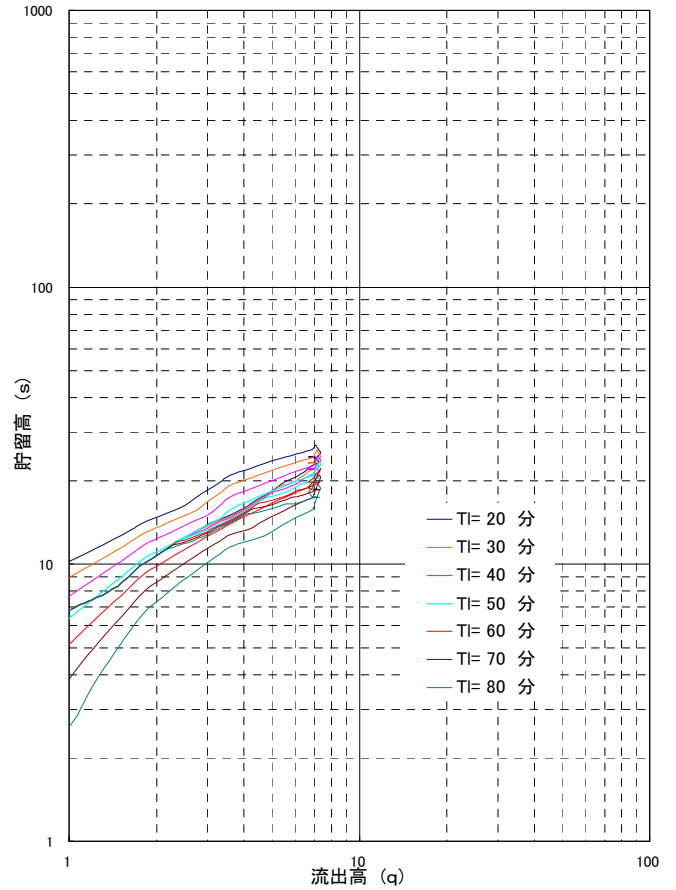
$\Sigma fR = 74.84$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

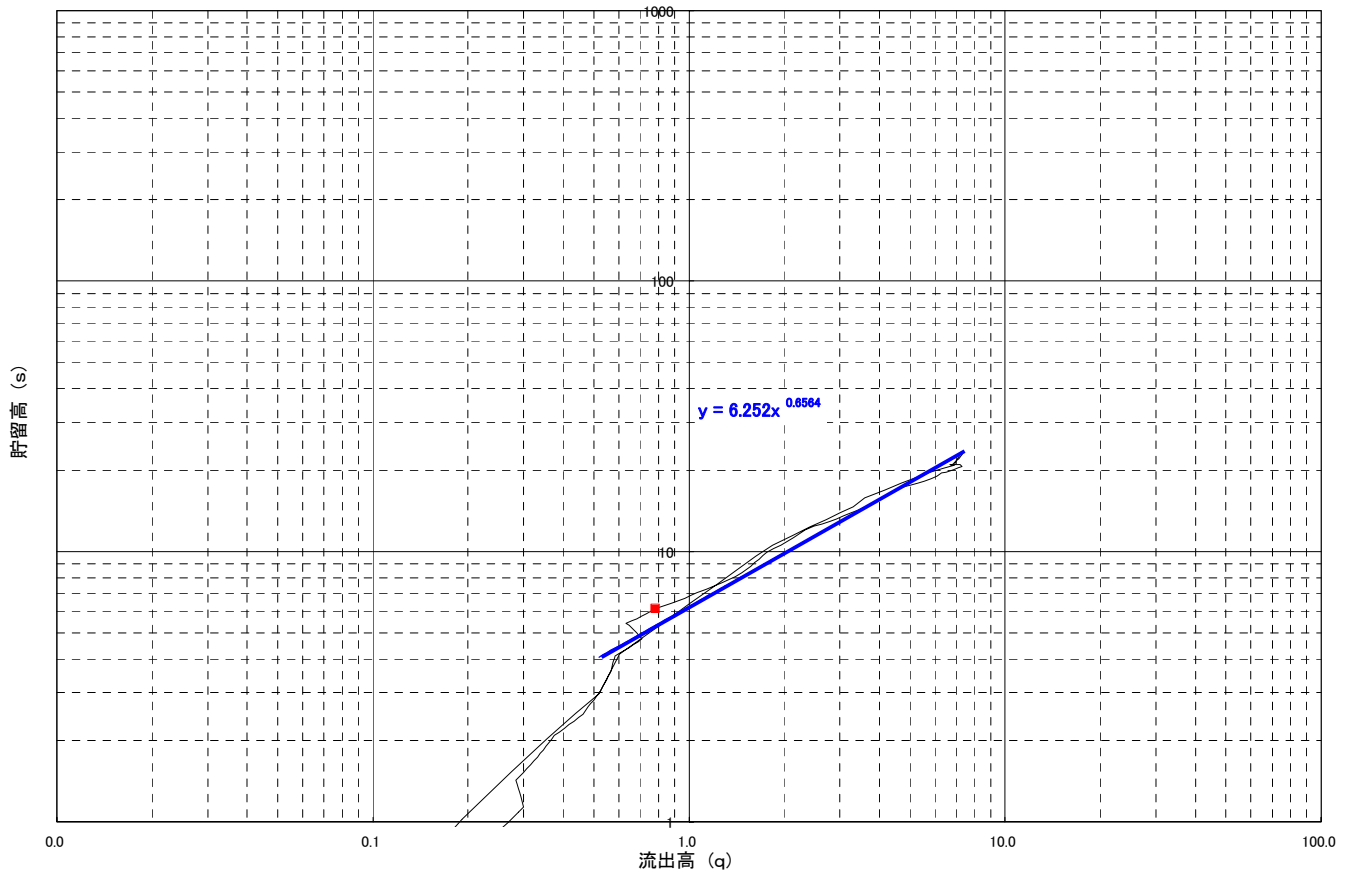


TL= 50 分

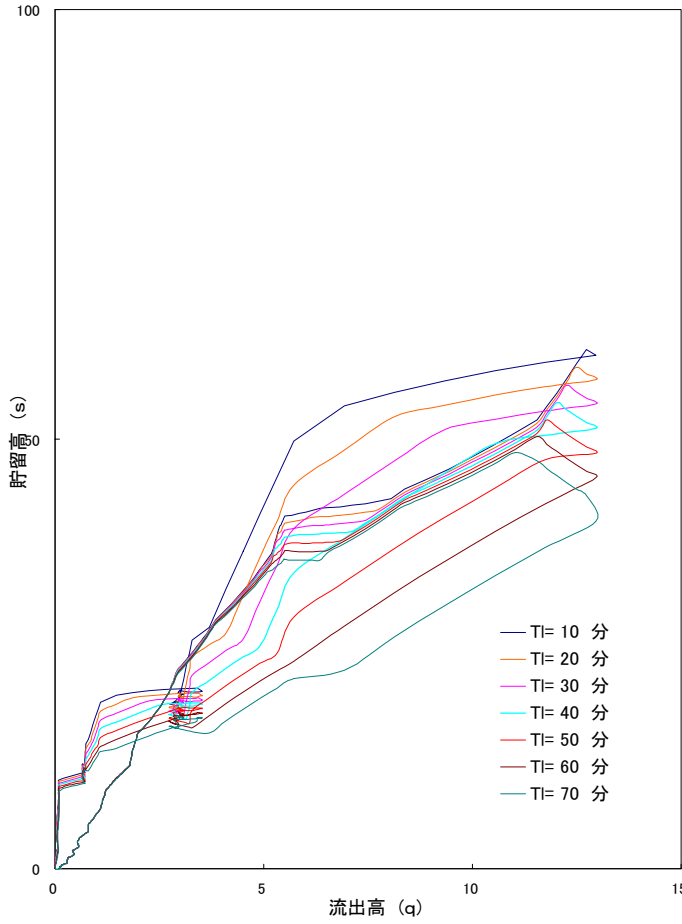
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 61.33$

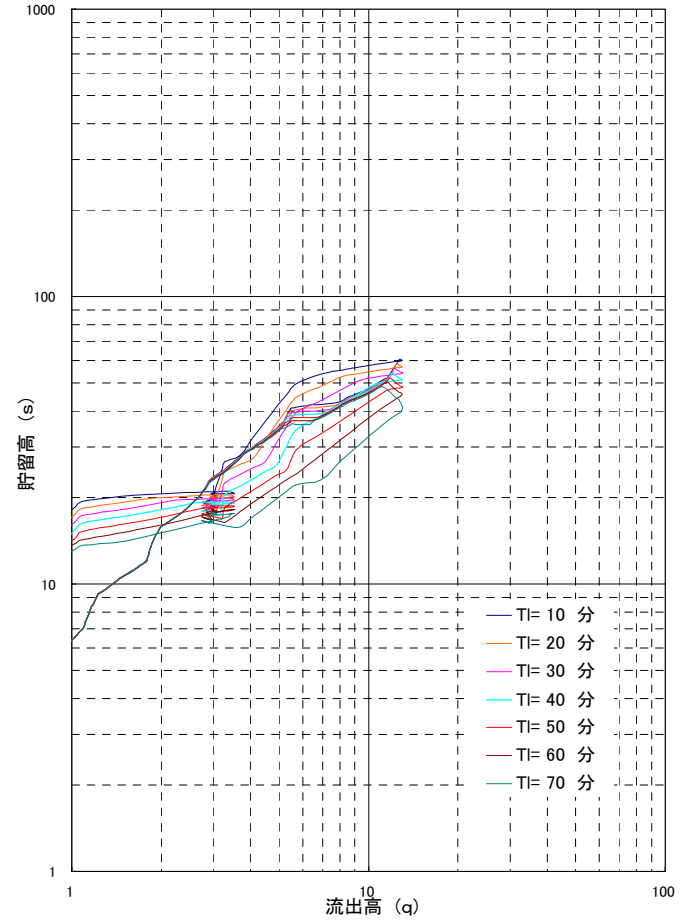
$\Sigma sR = 61.33$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

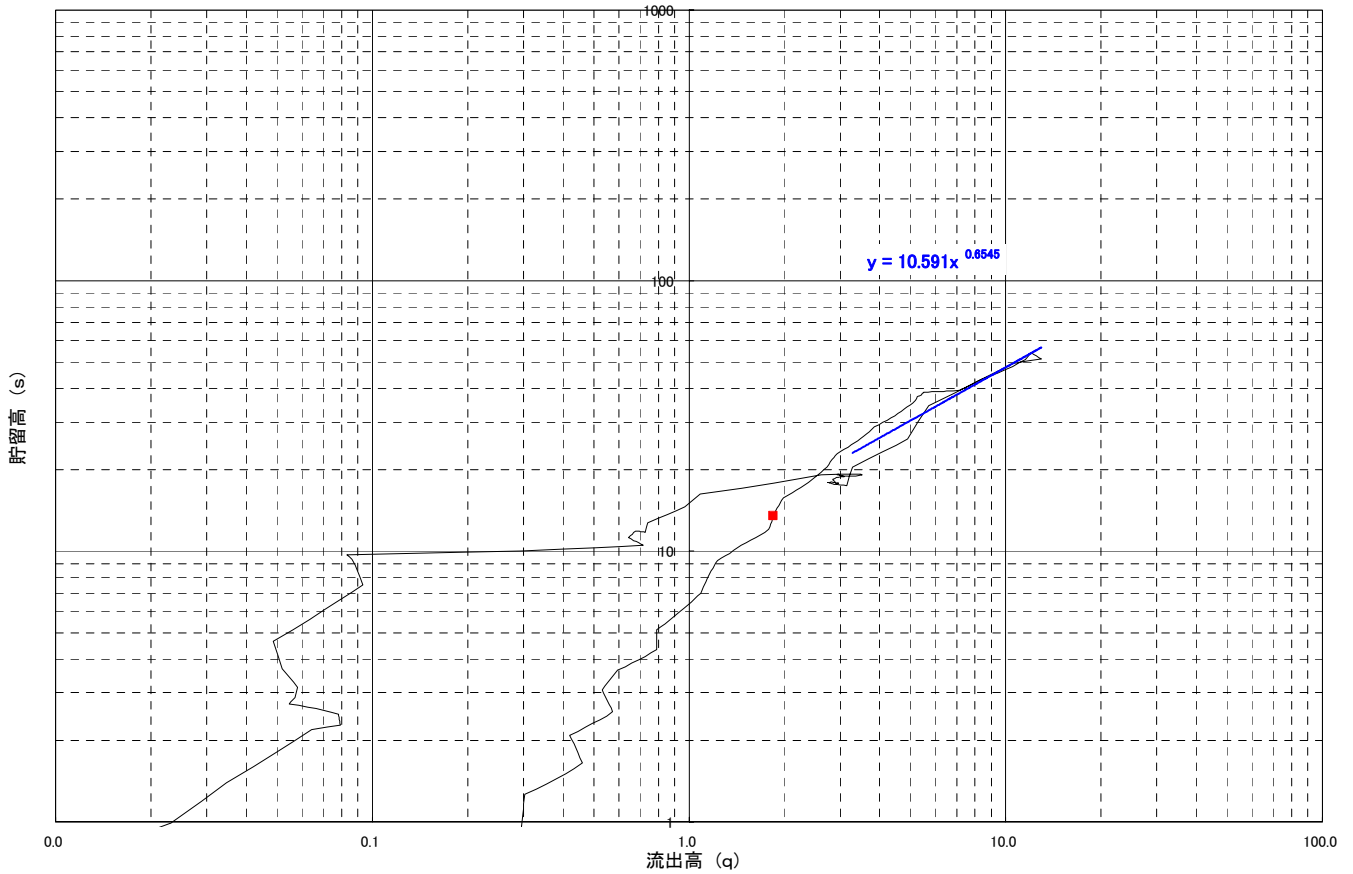


TL= 40 分

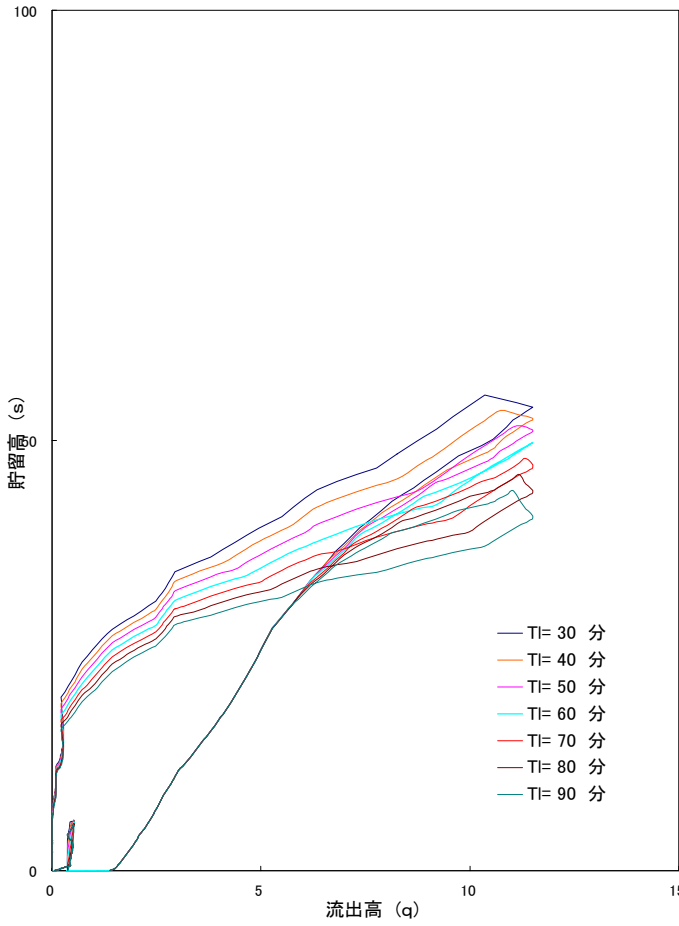
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 133.25$

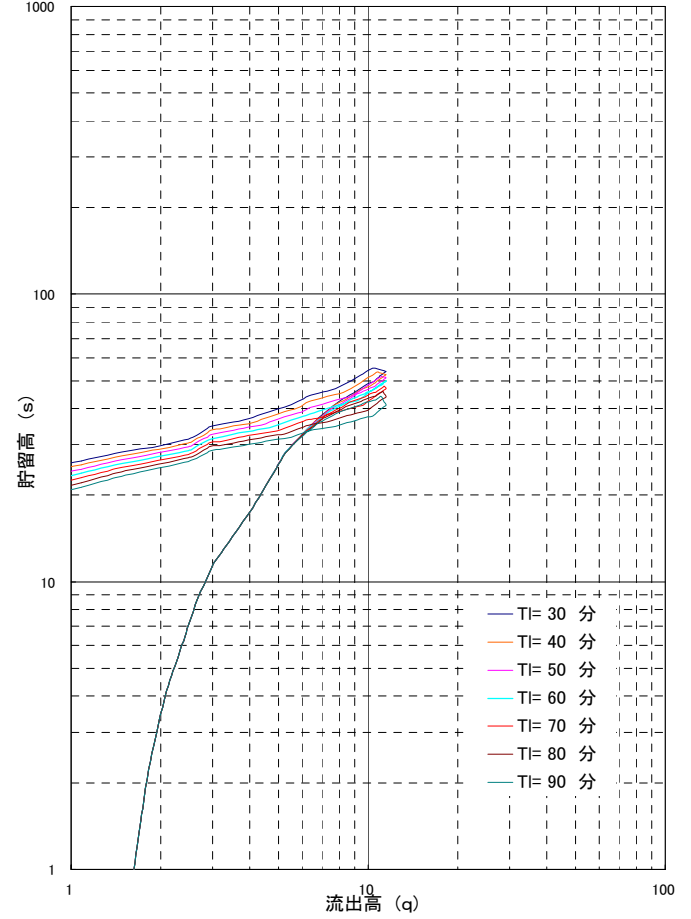
$\Sigma TR = 133.25$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

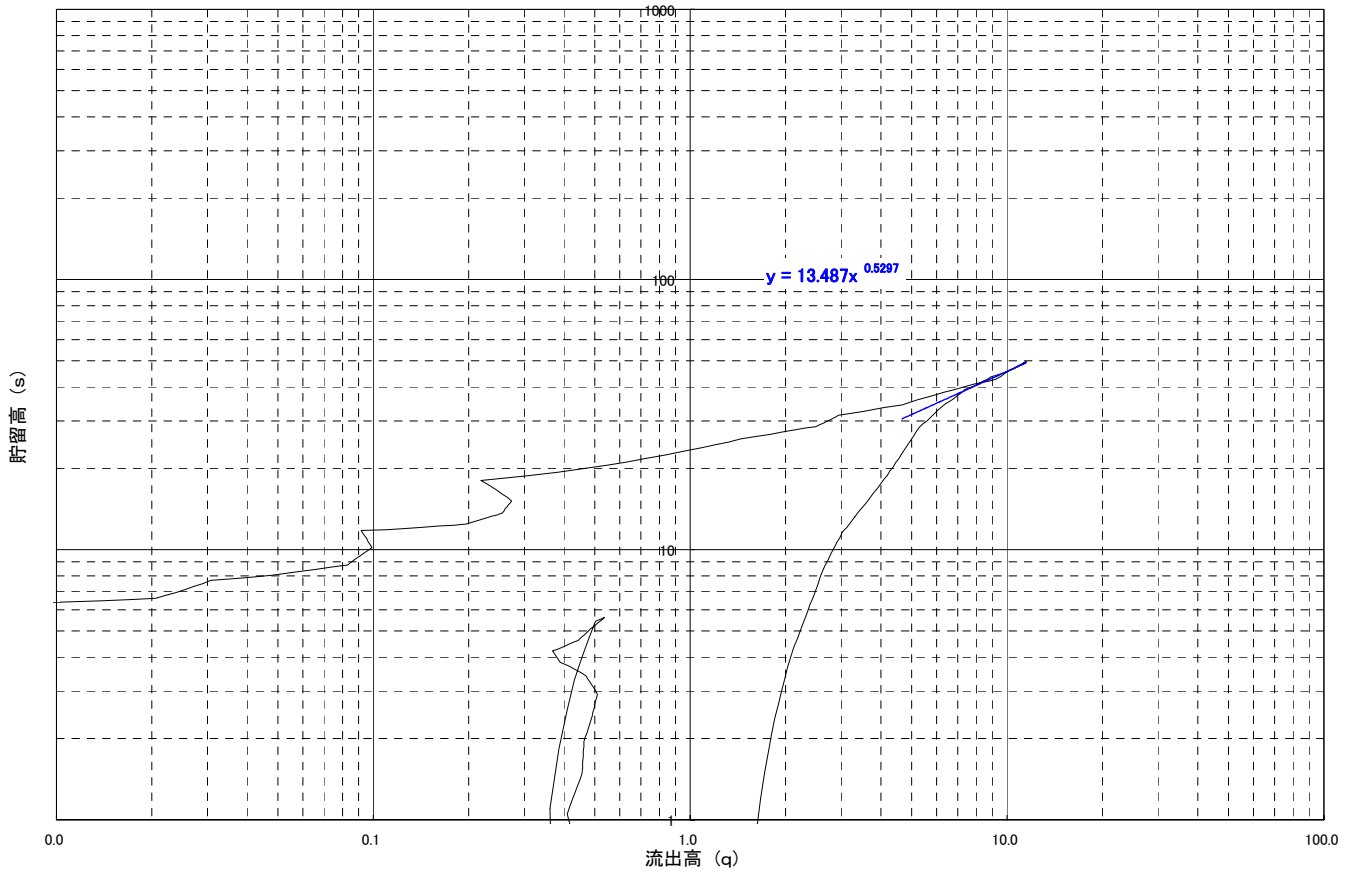


TL= 60 分

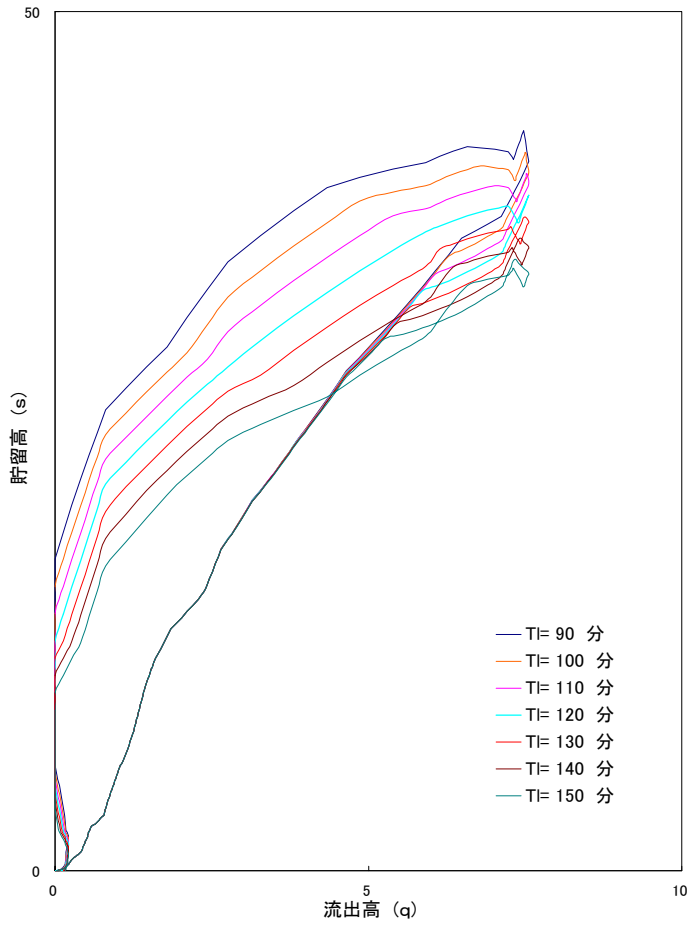
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 119.72$

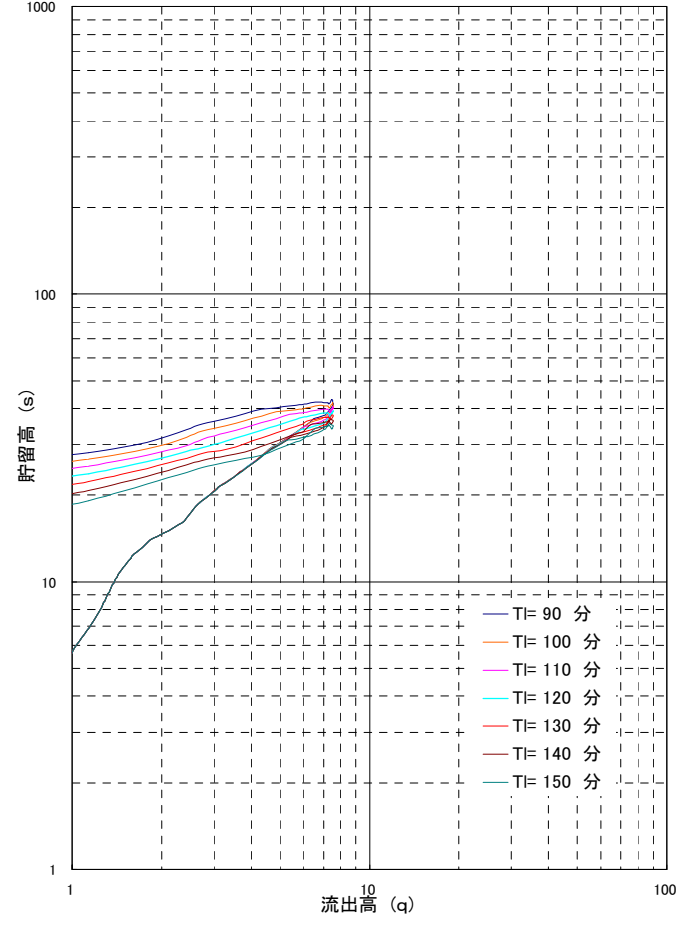
$\Sigma qR = 119.72$



流出高と貯留高

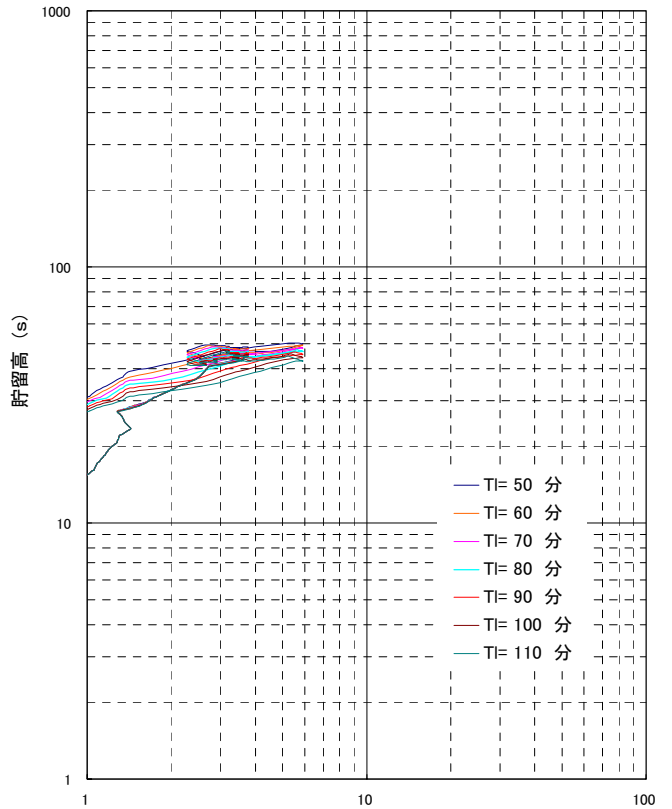
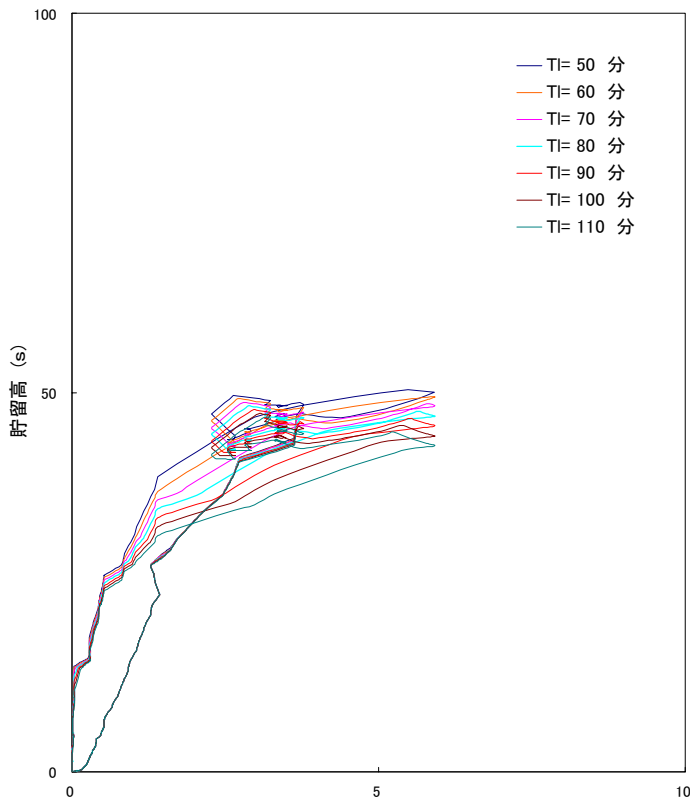


流出高と貯留高 (対数表示)



流出高と貯留高

流出高と貯留高 (対数表示)



流出高 (q)

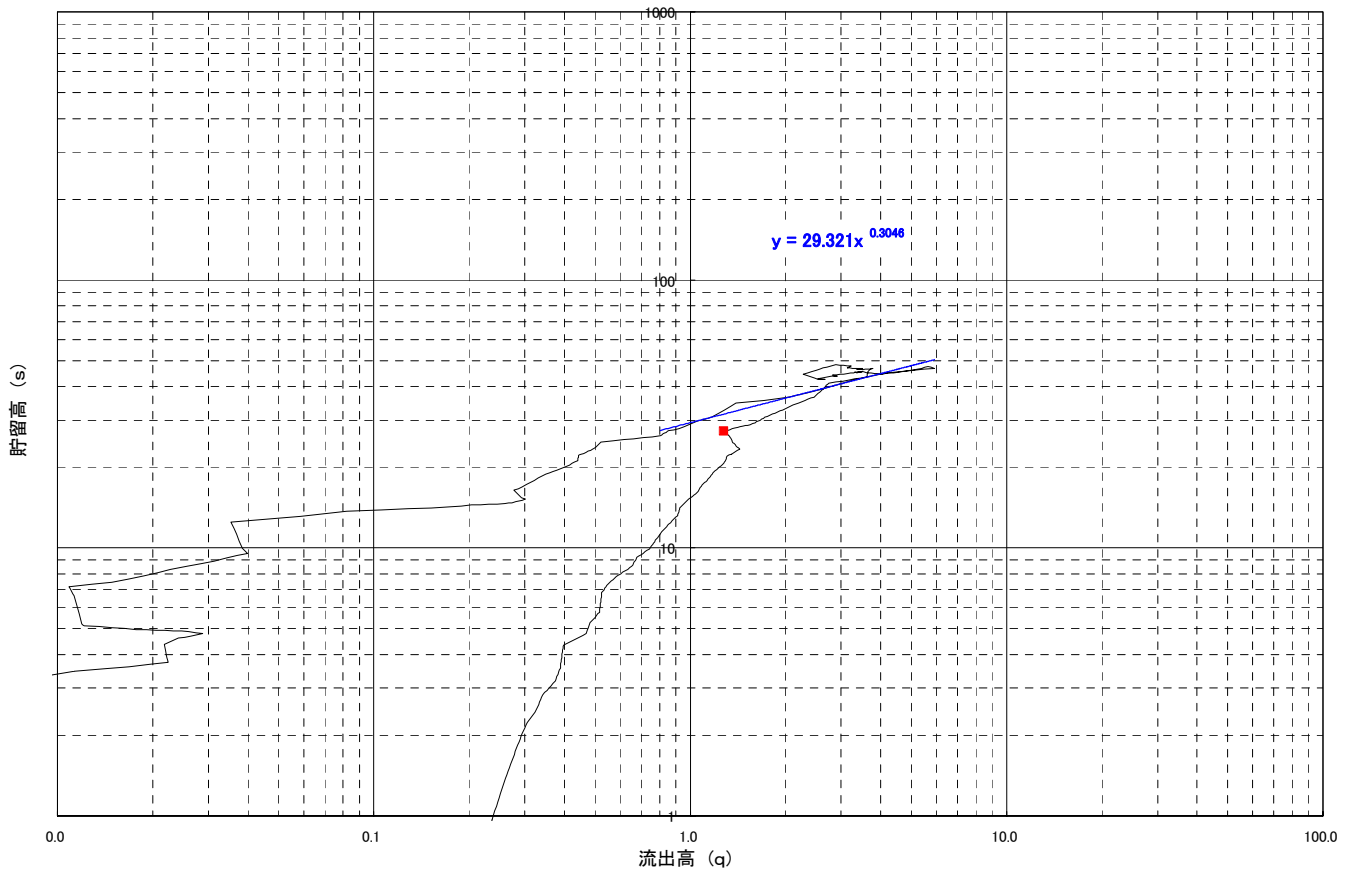
流出高 (q)

TL= 80 分

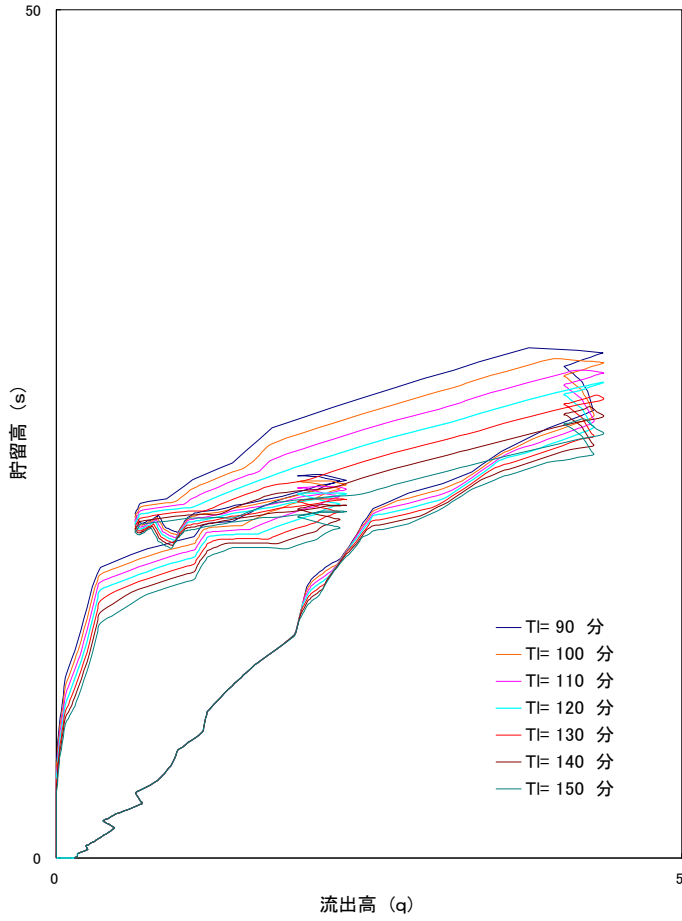
定数解析回帰式 (k、p)

$\Sigma q = 128.50$

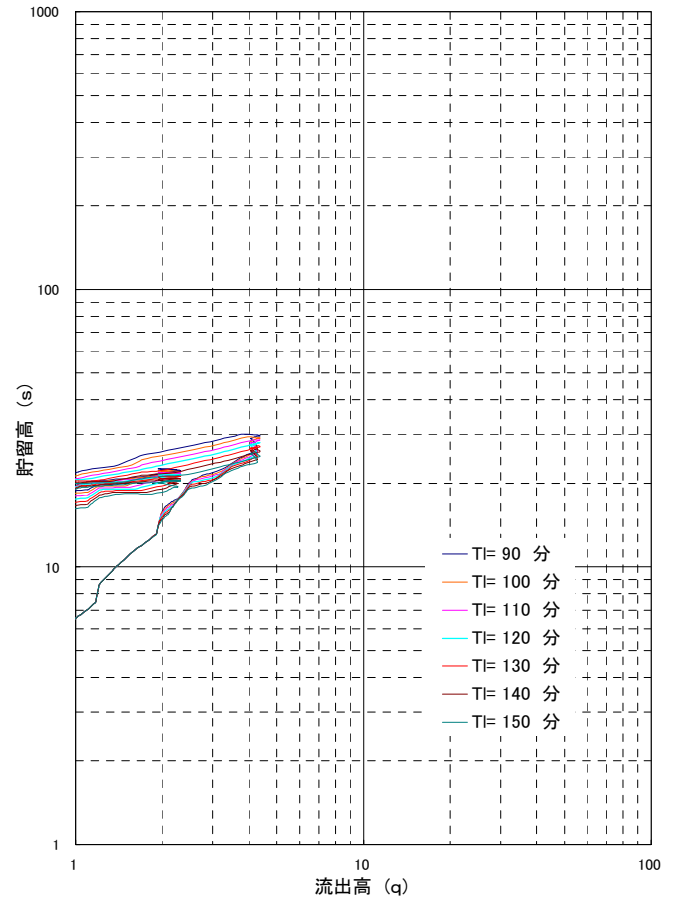
$\Sigma fR = 128.50$



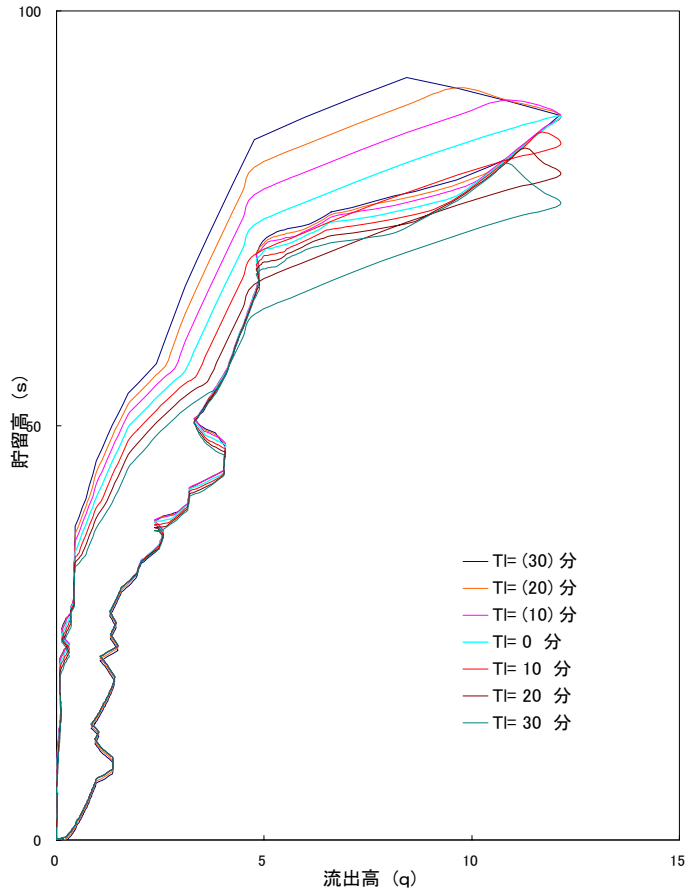
流出高と貯留高



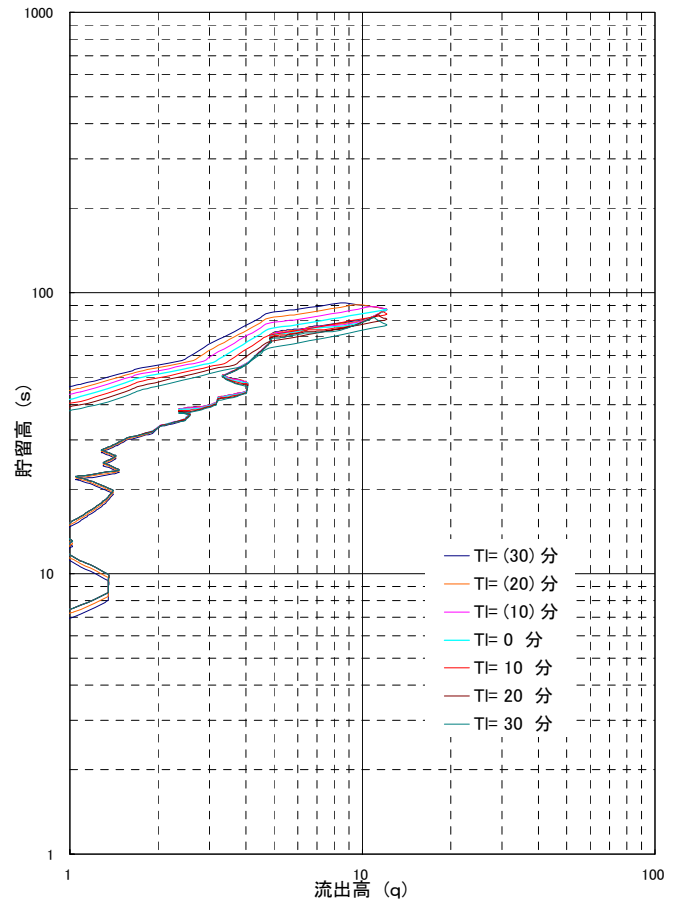
流出高と貯留高 (対数表示)



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

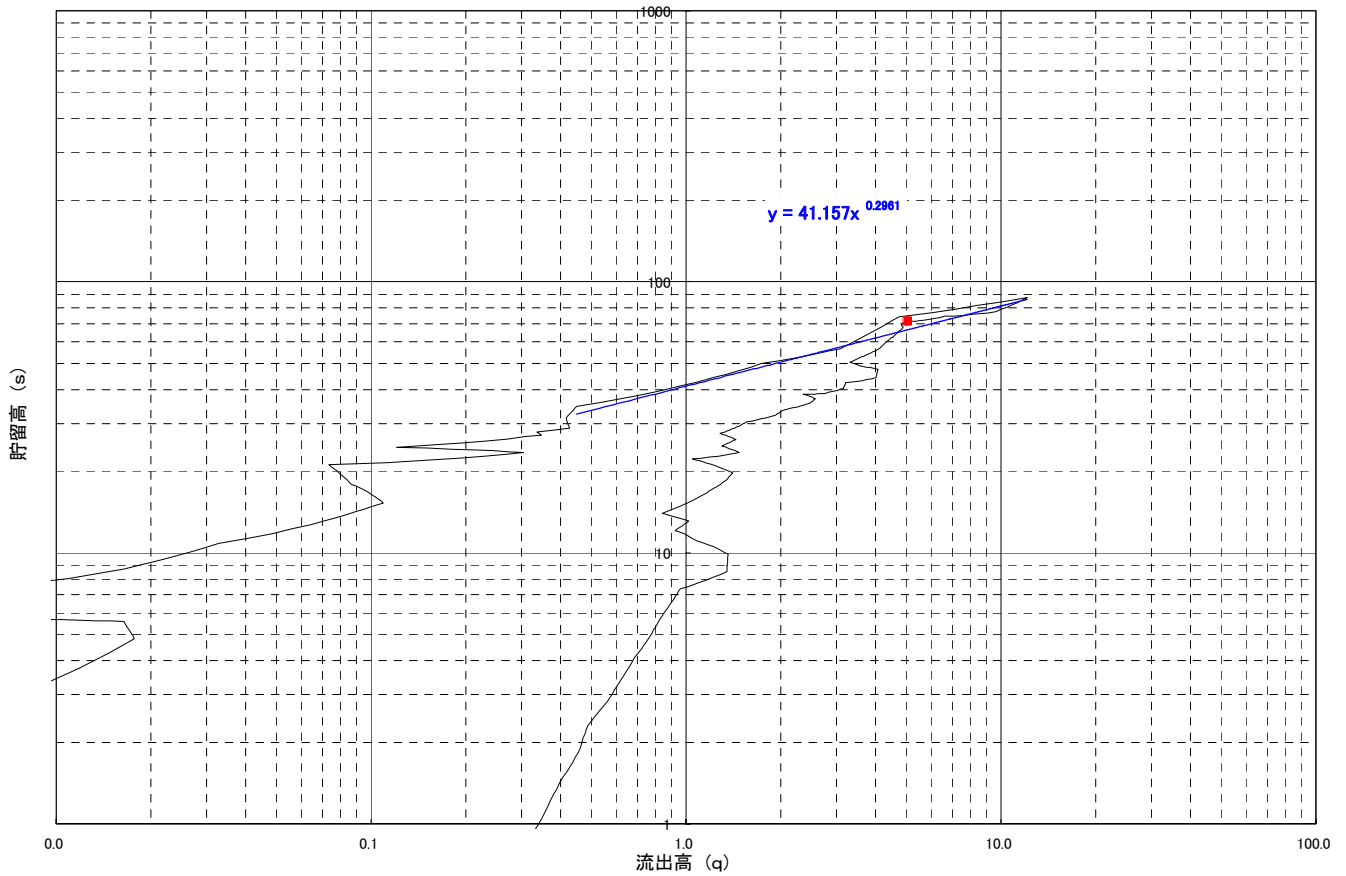


TL= 0 分

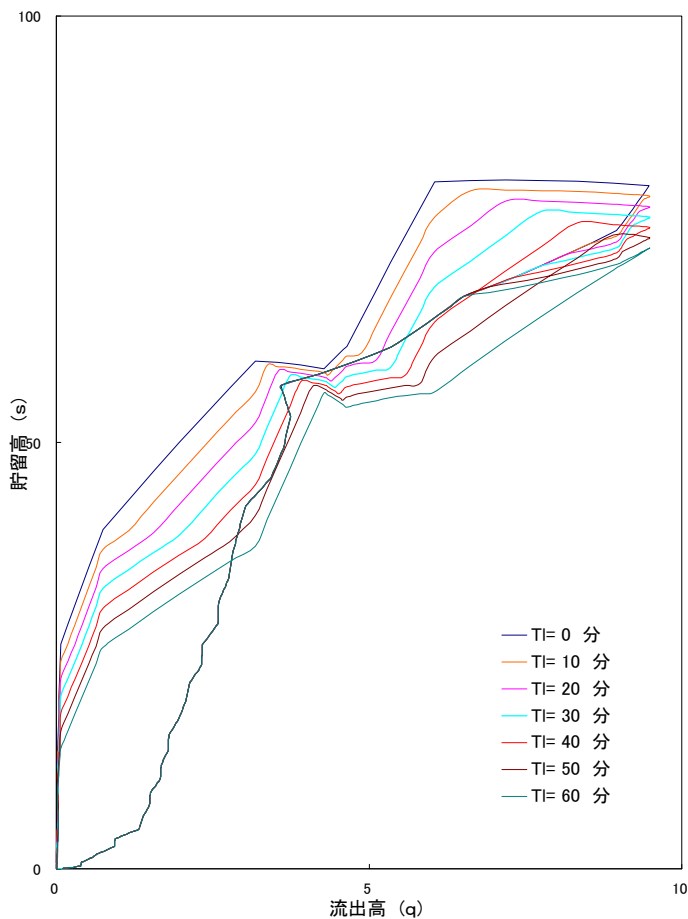
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 145.58$

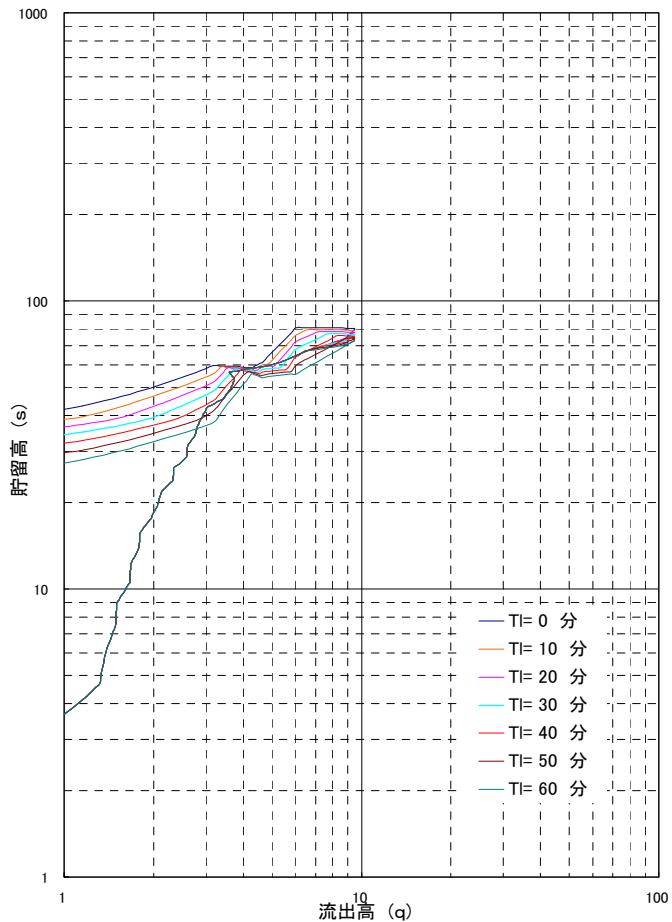
$\Sigma sR = 145.57$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

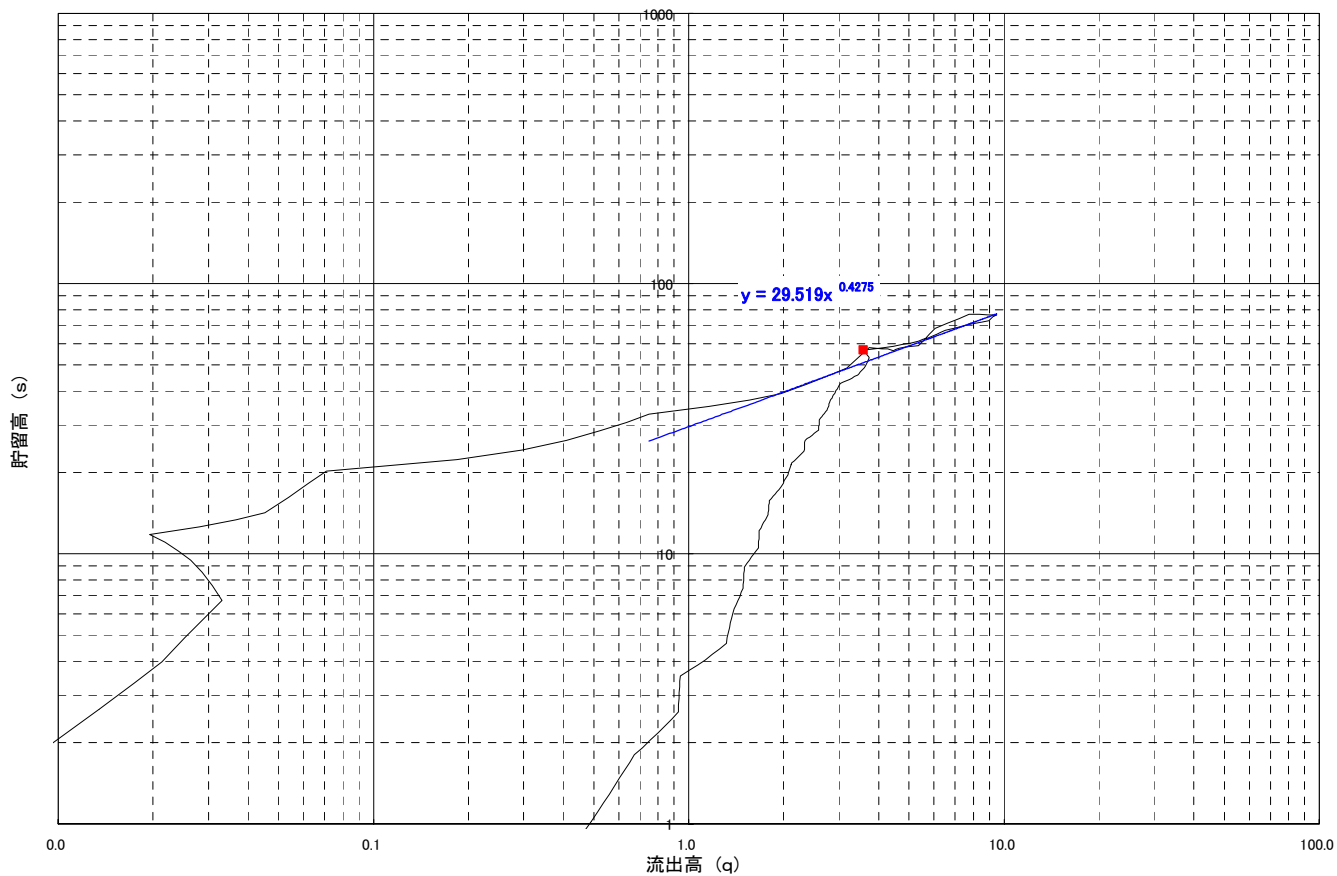


TL= 30 分

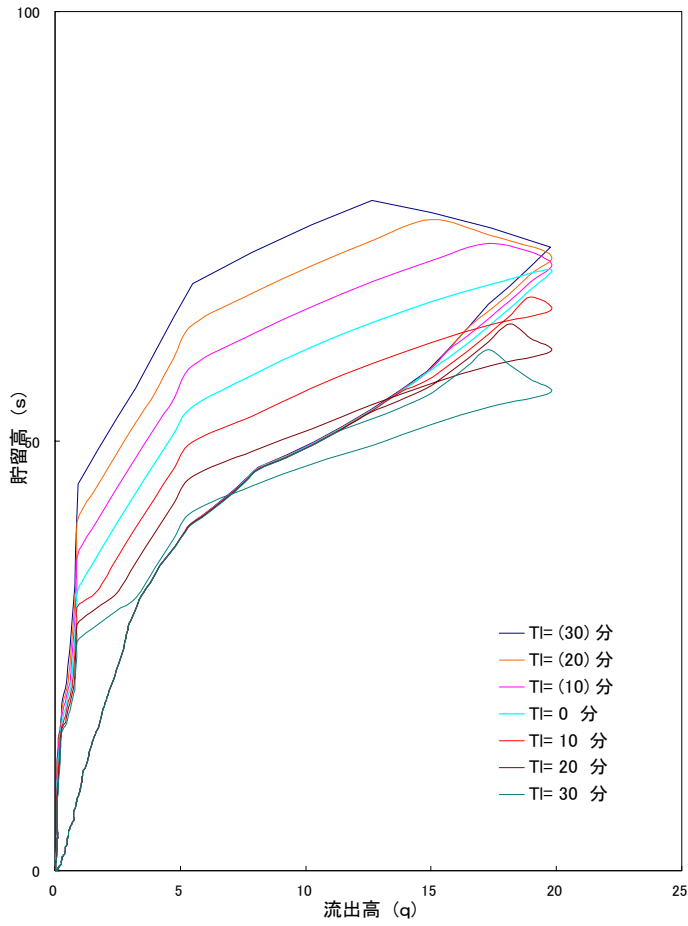
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 107.82$

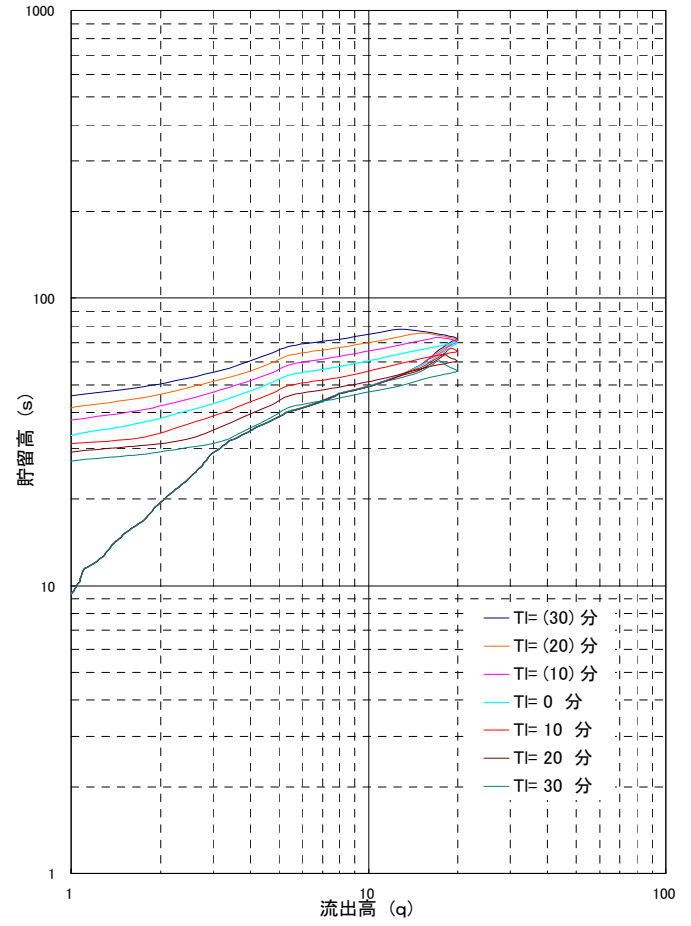
$\Sigma R = 107.82$



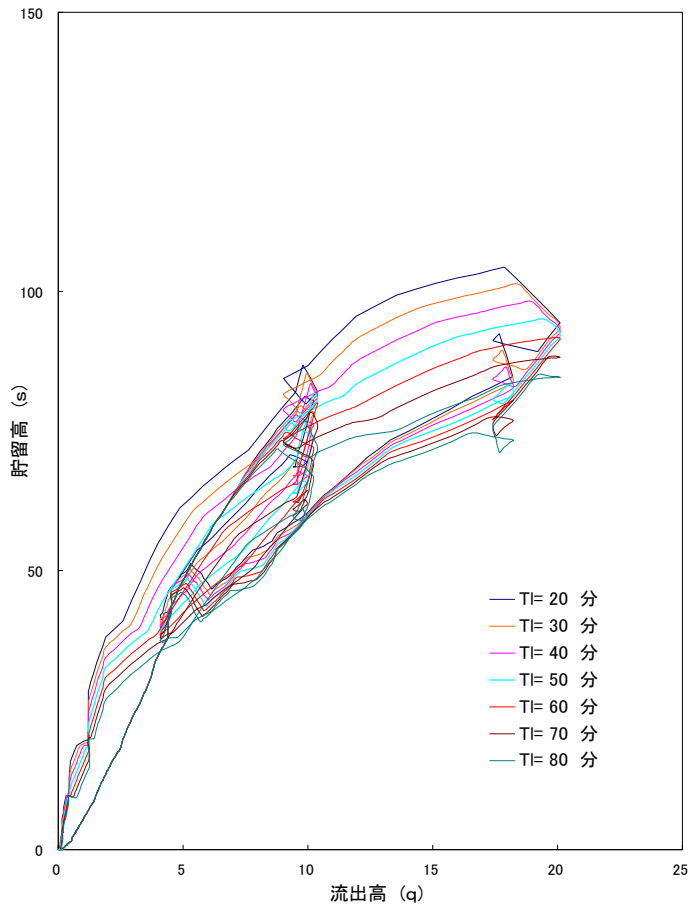
流出高と貯留高



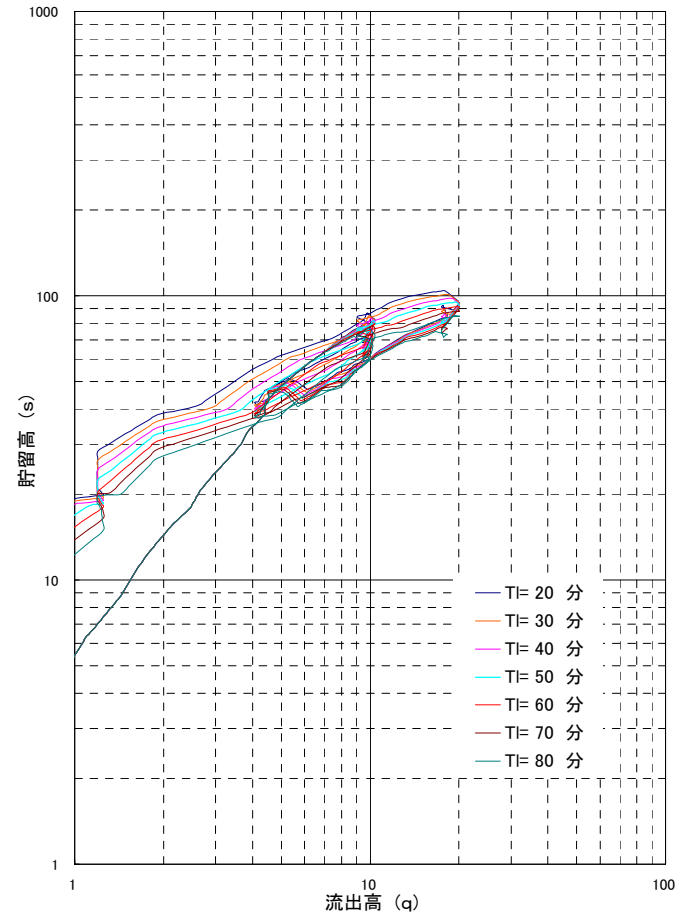
流出高と貯留高 (対数表示)



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

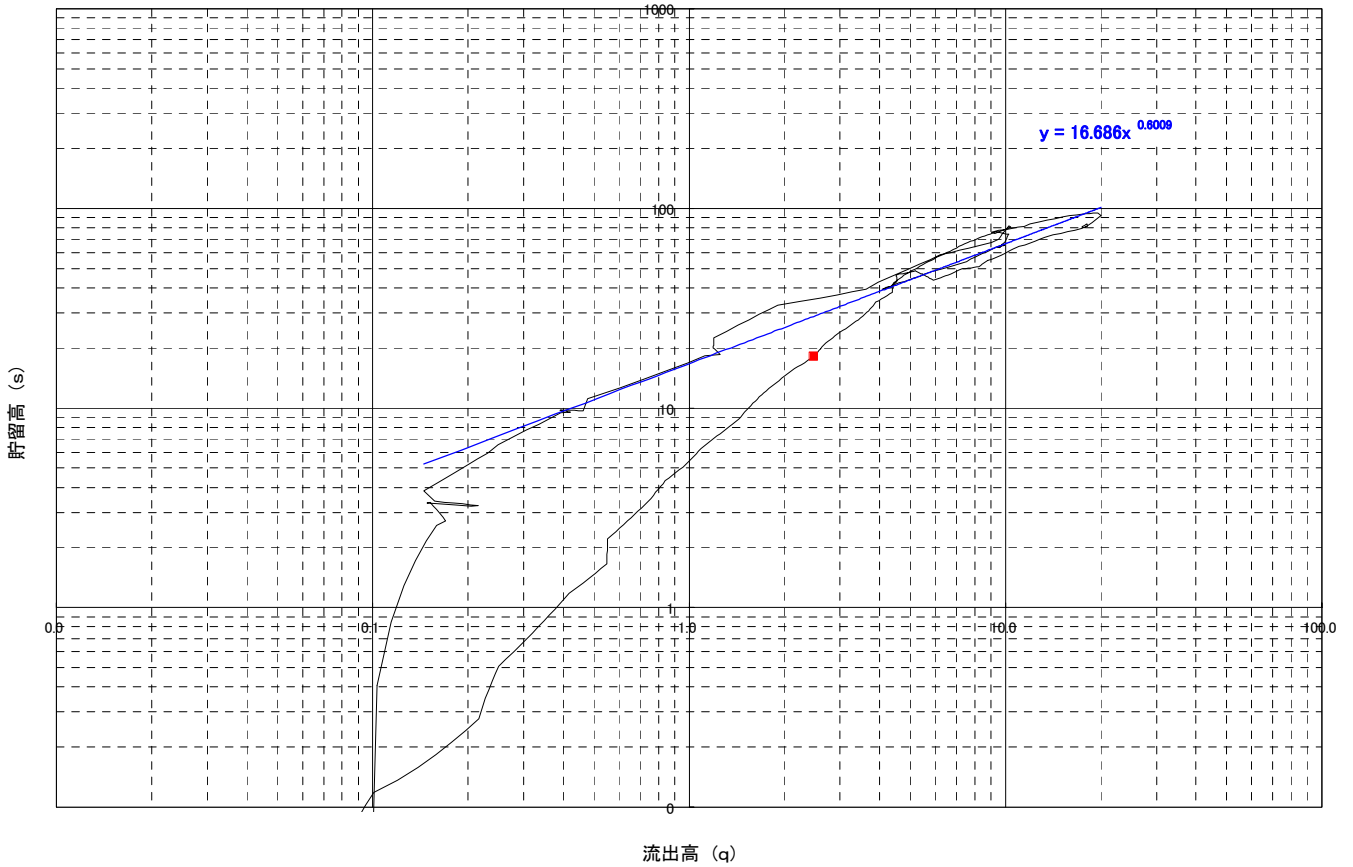


TL= 50 分

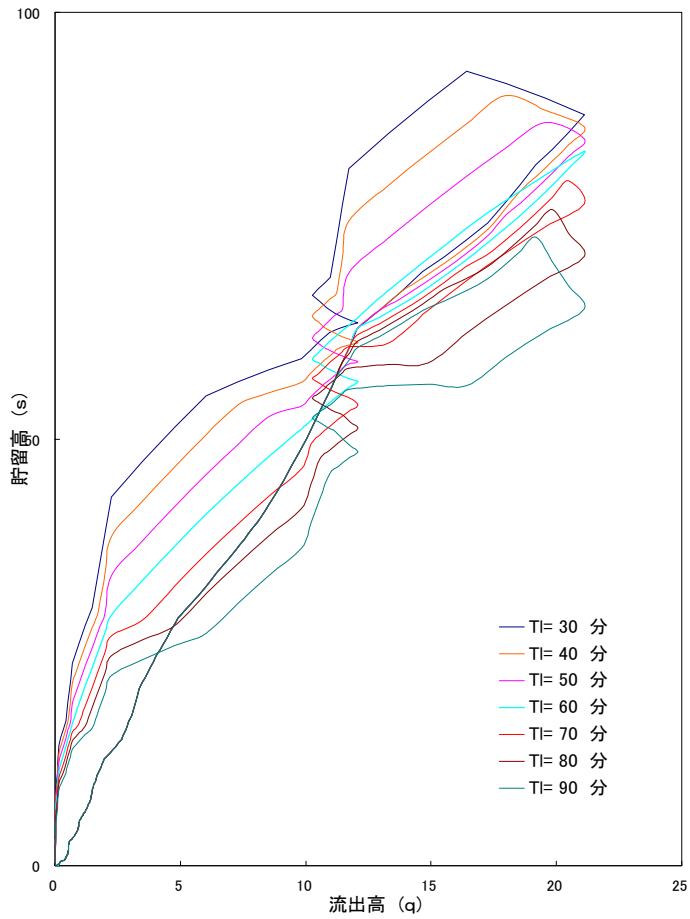
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 385.16$

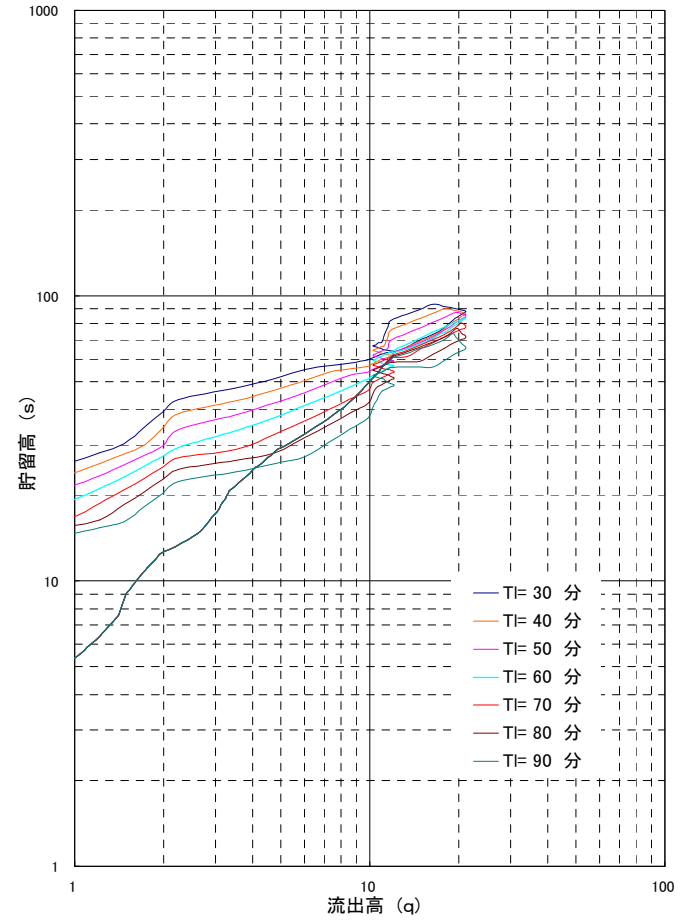
$\Sigma sR = 385.16$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

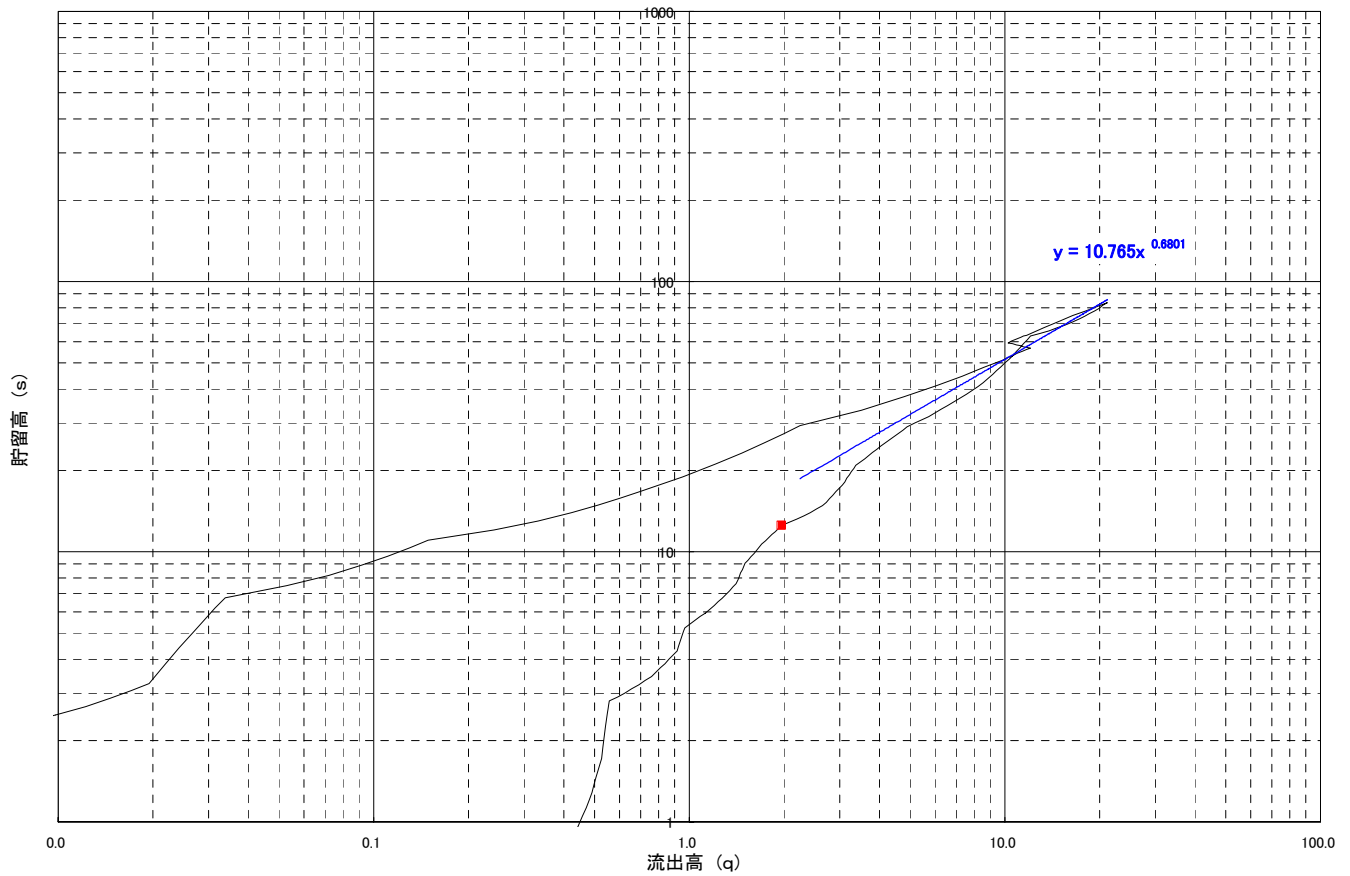


TL= 60 分

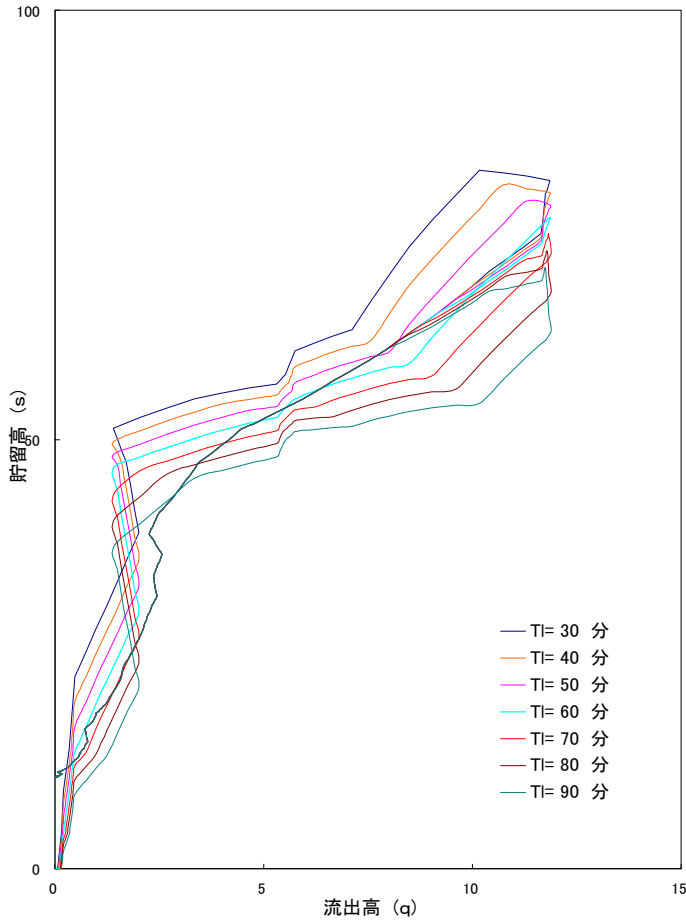
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 154.35$

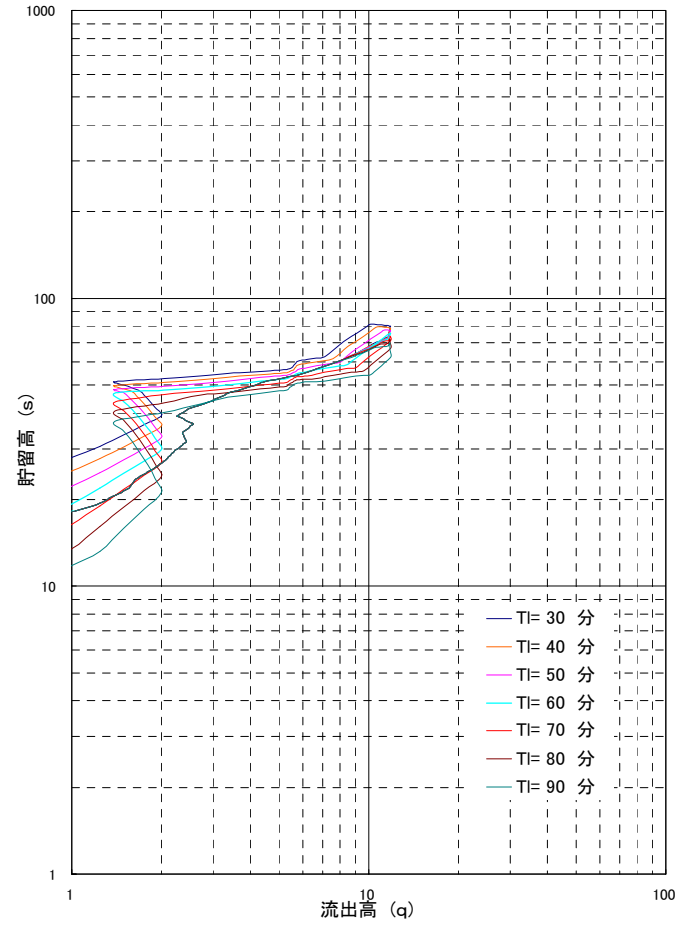
$\Sigma fR = 154.35$



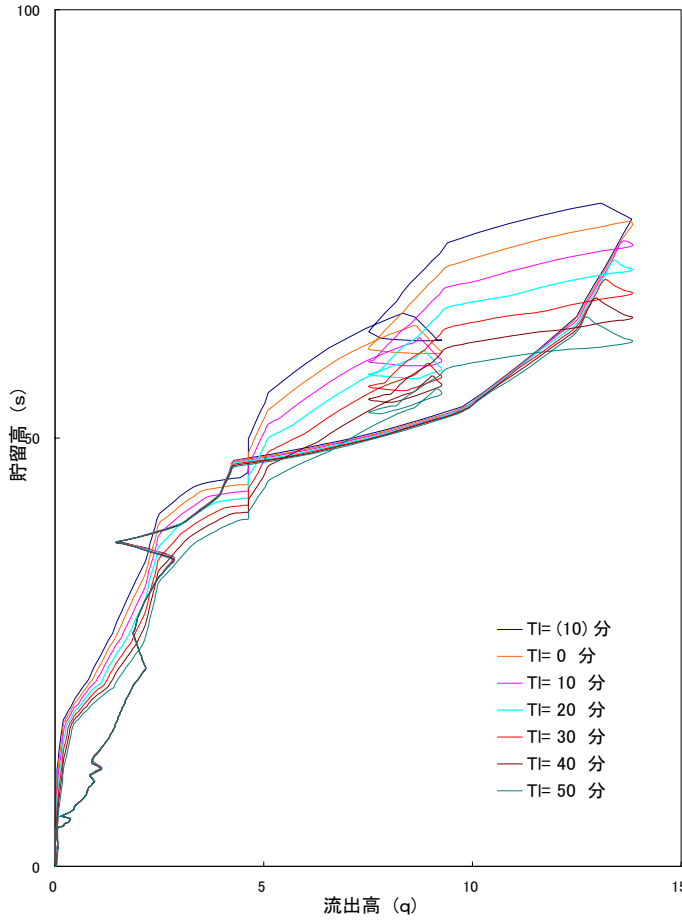
流出高と貯留高



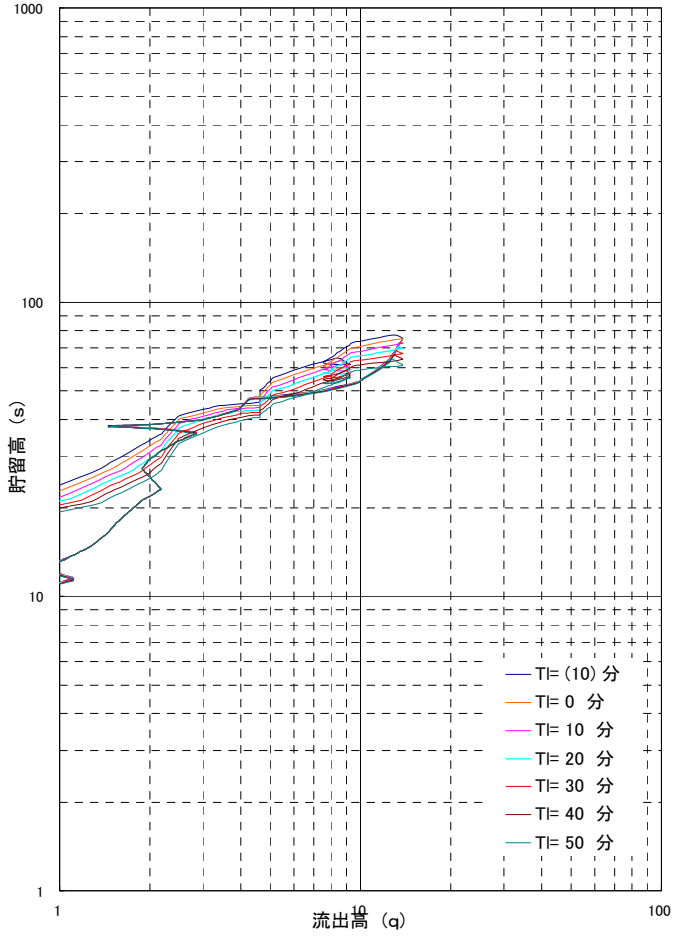
流出高と貯留高 (対数表示)



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

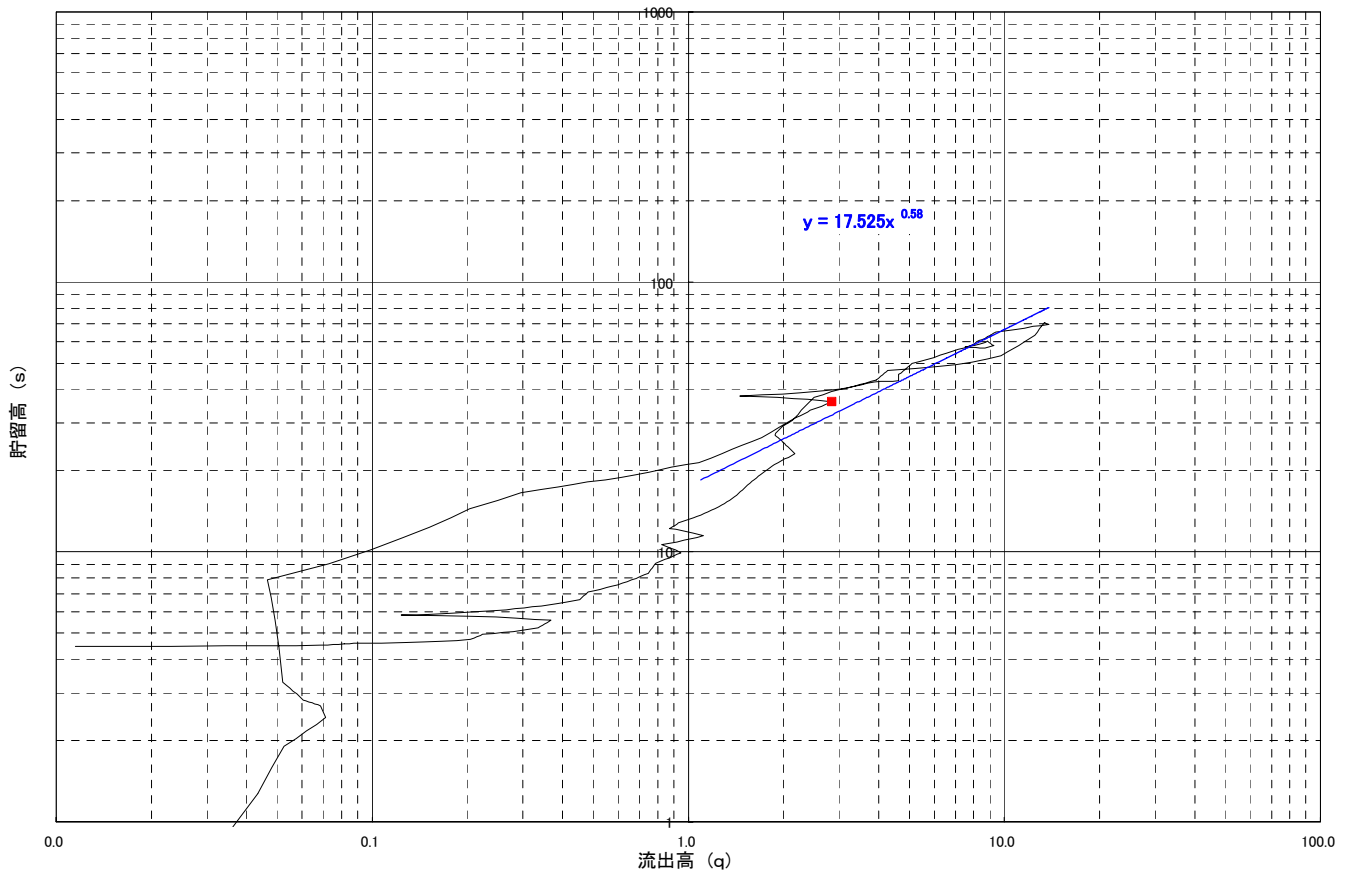


TL= 20 分

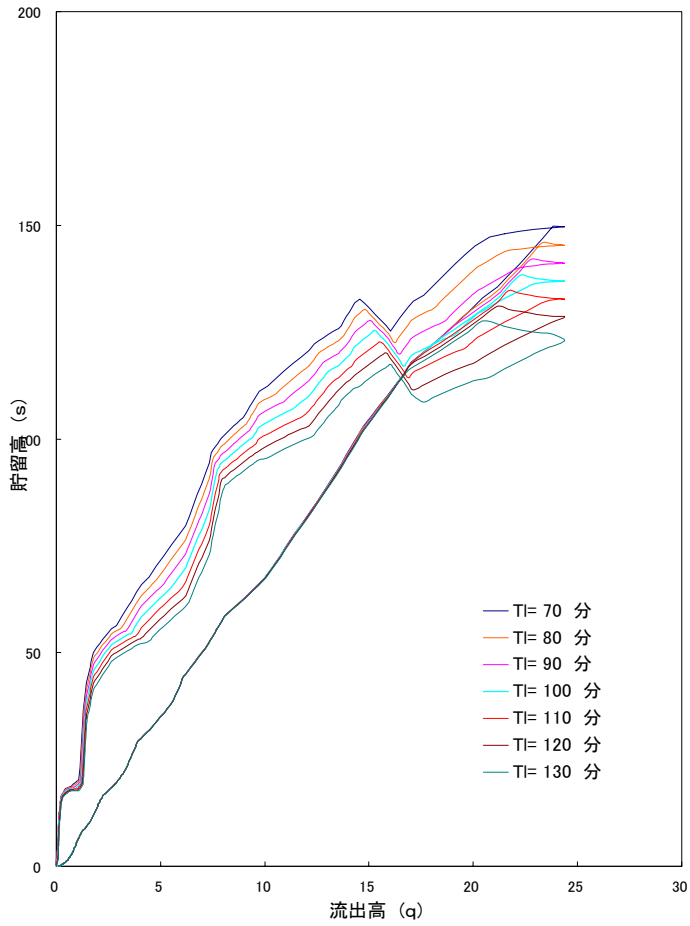
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 158.68$

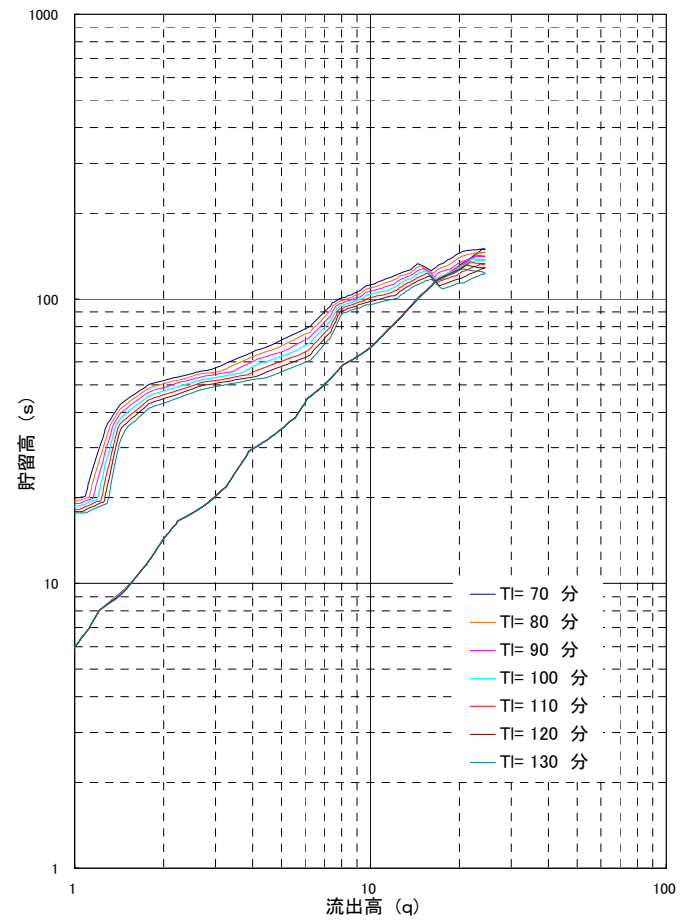
$\Sigma sR = 163.15$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

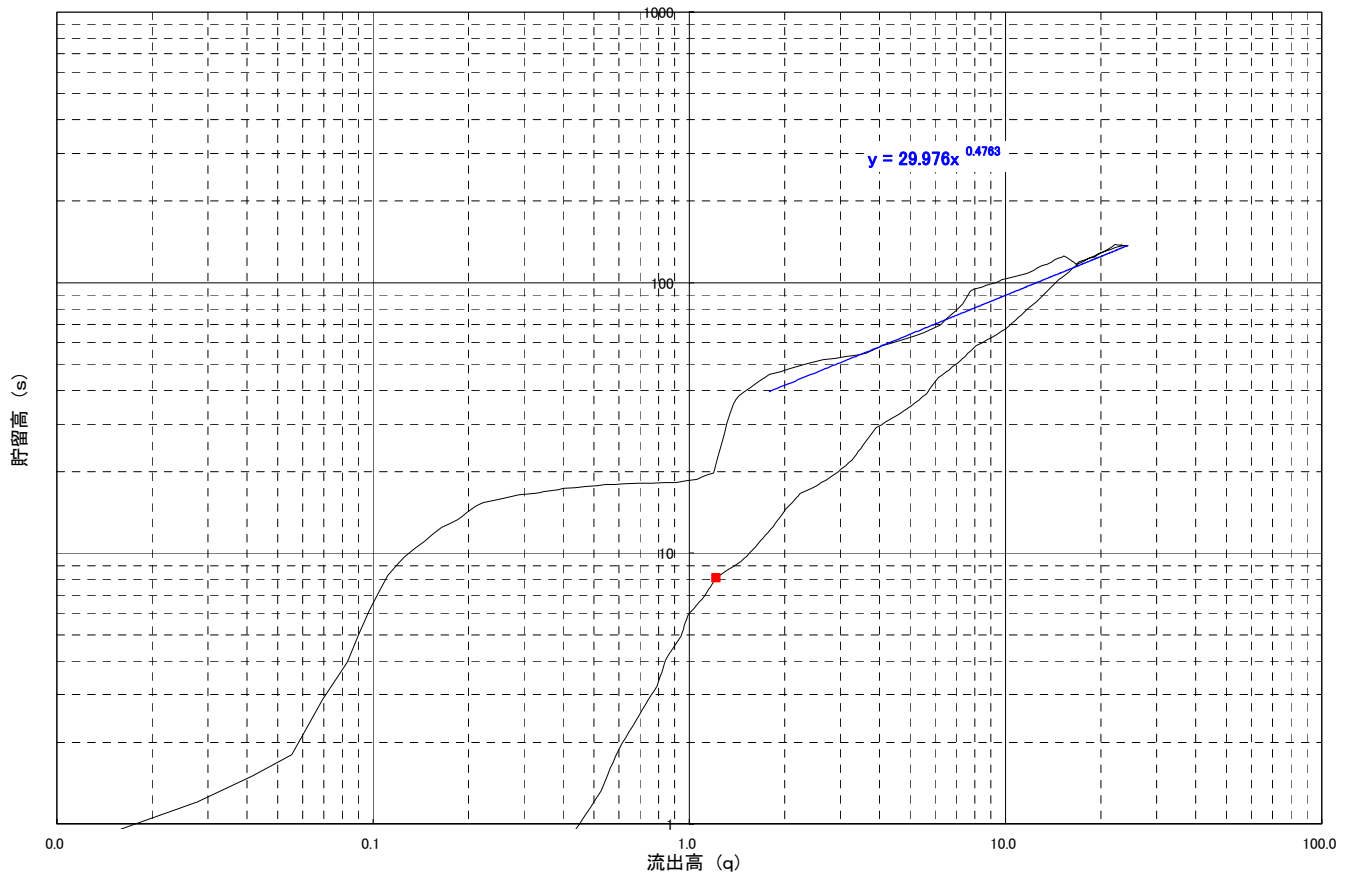


TL= 100 分

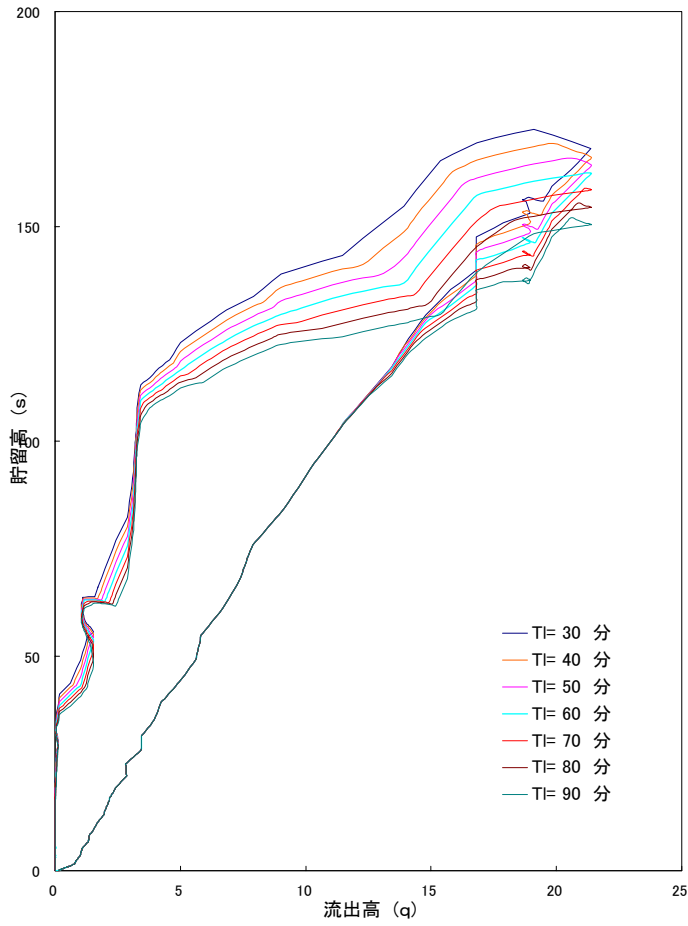
定数解析回帰式 (k, p)

$\Sigma q = 322.30$

$\Sigma tR = 322.30$



流出高と貯留高



流出高と貯留高 (対数表示)

